



# おらが湊鐵道応援団報

第184号  
勝田 | 阿字ヶ浦

## 「海と鉄道プロジェクト」が始動

ひたちなか市とひたちなか海浜鉄道が、千葉県銚子市と銚子電鉄とともに、日本財団による「海と鉄道の街」としてこのほど認定を受け、「海と鉄道プロジェクト」がスタートしました。このプロジェクトはことしが初年度。海と深い関わりを持ってきた町や地域を走る鉄道を応援し、子どもたちに鉄道を利用して海へ足を運んでもらい、環境問題や地域鉄道の活性化へ向けての意識を育むことがねらいです。

### プロジェクト第1弾

### 白亜紀海岸で磯遊びツアー

プロジェクトの第1弾は、7月17日に磯崎町の中生代白亜紀海岸での磯遊びミニツアーとして行われました。

参加者は小学校低学年の親子連れ約40名と、スタッフ10数名。市報などで募集を開始したところ、すぐに10倍近い応募があり、抽選で選ばれたそうです。

勝田駅から湊線「磯遊び号」に乗車、車内ではクイズ大会などで盛り上がった中、美乃浜学園駅で下車、徒歩で海岸へ向かいました。昼近くに干潮を迎えた磯では、自然科学教育普及団体・地球レーベル代表の「ひとでちゃん」が講師を務め、磯の生きものをしっかり解説。参加者は時間が足りなくなるくらい夢中で、ウミウシやアメフラシに歓声を上げていました。最後は海岸で特製のお弁当。磯遊びの楽しさを堪能した一行をみて、同行した吉田社長は「磯遊びも利用客増につながることを再認識した」そうです。

次のプロジェクトは8月22・24・29日に、アクアワールド大洗水族館のバックヤードツアーを中心に実施する予定です。



## 新型コロナウイルス終息までともに頑張りましょう!

### 野外劇「海鳴の宝船歌」の背景

那珂湊野外劇実行委員会 代表 磯崎 満さん

那珂湊野外劇は平成30年に第1回目を行いました。

この地那珂湊は、江戸時代は東回り航路の中継港として繁栄し、幕末期には天狗・諸生の乱の最も激しい戦いの場



野外劇出演者とスタッフのみなさん

となりました。明治時代になると、漁業の町としても発展しました。漁師たちは海から上がると町の銭湯に行き、散髪し、芝居を楽しみました。漁師の主戦場は海。リスクを取って挑む生業でした。魚種は主に鮪、鯉。特に平磯町は鮪の流し網漁業が盛んでした。流し網漁法は同町の磯崎与茂七が開発した画期的な漁法で、冬から春にかけて薄い層の黒潮に乗って沿岸付近を北上して来る鮪の群れを、流し網を張って捕えます。船は和船で櫓は9丁、12丁など。櫓は1丁を2人で交代しながら漕ぎ、船頭を入れると9丁櫓の和船で20名以上が乗り込みました。

明治41年、42年は不漁が続きましたが、43年3月になると、銚子沖に大群の鮪の群れが溜まっているとの知らせが入り、平磯町をはじめ、湊町、前渡村前浜（阿字ヶ浦）の漁師たちは大挙して漁場に向かったのです。

かつてない大漁に櫓漕ぎの和船上は歓喜に湧きました。しかし、漁業史上稀な悲劇に襲われたのです。帰港途中の3月12日、爆弾低気圧の襲来に巻き込まれ、櫓漕ぎ和船は波間に翻弄され、鮪を荒海に投棄するもかなわず次々と転覆し、多くの漁師たちは荒海に投げ出され、行方不明となり、亡くなったのです。その数平磯町、湊町、前浜合わせて437名（茨城県全体では556名）。特に平磯町は290名、湊町は107名、前浜は40名、大遭難事件となりました。この悲劇は残された遺族を襲い、悲しみは町全体を覆いました。しかし、これを機に翌年平磯町の根本惣三郎は、石油発動機による動力船の導入を図り、茨城の近代漁業の魁（さきがけ）となったのです。

現在、この大惨事で亡くなった方の氏名が刻まれた慰霊碑が、阿字ヶ浦の浄妙寺、館山の浄光寺、湊泉町の光明寺、牛久保の法華寺にあります。また、残された遺族のため、追善供養相撲を行った横綱常陸山の石碑が栄町の華蔵院に建てられています。

2回目となる那珂湊野外劇「海鳴の宝船歌」は、この大遭難事件をベースにしました。単なる悲劇にとどまらず、その後の町の人々が力強く生き、再生を図ってきた重層的な物語になっています。ぜひご覧ください。



那珂湊野外劇ホームページ



野外劇のクラウドファンディング

## MMM2022

みなとメディアミュージアム

8/7(日)→20(土)開催決定

那珂湊駅や湊線車内、沿線地域をアート会場にした、みなとメディアミュージアム(MMM)が、今年も8月7日から20日まで開催されます。13回目の開催になる今年のテーマは「海と生命との関わり」です。



ホームページ

今年の出展は、10組の個人・団体で、建築家で環境芸術も手掛ける奥田祥吾さんが専属ディレクターを務めます。アーティストの作品のほか、今回はMMMのアーカイブ展(8/14~28)や新宿メディア芸術地域活性化協議会の出展があります。期間中は11時~18時(最終日16時)オープン、水曜休館。作品鑑賞はすべて無料です。

詳しいアートマップや作品情報は近くMMMのホームページで公開されるほか、案内図が那珂湊駅などで配布される予定です。  
<https://minato-media-museum.com>

### 応援団総会 書面決議で承認

令和4年度の応援団総会は、約93万3千円の予算案などが6月10日付の書面決議(議決権44・承認39)により、賛成多数で可決されました。

### 駅的环境整備ありがとうございます

駅名	8月7日(日)	9月4日(日)
中根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	神敷台 部田野小・谷金 十三奉行	湊中央 湊本町 商店街
殿山	和田町・殿山町	七丁目・牛久保町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

※朝8:30(中根駅と、高田の鉄橋駅は8:00)から実施します。

### はまぎく花壇の整備ありがとうございます

7月9日朝、近隣自治会の皆さん(約60人)と海浜鉄道の協力のもと行われました。皆さん、ご協力ありがとうございました。

はまぎくは市の花で、花言葉は「逆境に立ち向かう」。湊線のシンボルの花です。2007年7月当時の那珂湊二高の生徒さんが育苗した1600株を沿線の皆さんが湊線沿線の駅などに植え、今も受け継がれています。



湊線1日フリー切符割引販売中  
おとな600円 こども300円

### 湊線沿線の「いま」がわかる! 応援団facebookページ「いいね!」9,320名を達成しました!

- 【海浜鉄道関係】
    - ◇ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp/>
    - ◇ツイッター <http://twitter.com/minatoline>
  - 【応援団関係】
    - ◇フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
    - ◇ツイッター <http://twitter.com/keha601>
    - ◇応援団HP <http://minatosen.com>(湊線どっと混む)
- ※「ひたちなか海浜鉄道」「おらが湊鐵道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

うみなりのほうせんか  
**海鳴の宝船歌**  
8月10日(水)・11日(木)祝  
小雨決行・予備日12日(金)  
しおかぜみなとグラウンド  
(旧那珂湊二高) **入場無料**

19時開演 オープニングミニコンサート  
10日 17時~ 11日 18時~

- しおかぜみなと駐車場・周辺駐車場には限りがあります。湊線(殿山駅から徒歩5分)、バスなど公共交通機関をご利用ください。
- コロナ感染予防のためマスク着用、入場時の体温測定にご協力ください。
- 会場はグラウンドですので、動物等をご持参ください。

主催 ■那珂湊野外劇実行委員会

### 那珂湊野外劇 協賛企画展(貴賓閣復元研究会主催) 江戸から昭和初期の那珂湊展

8月6日(土)~11日(木) AM.10:00~PM.5:00  
8日休館 / 10・11日はPM.9:00まで  
会場・しおかぜみなと 多目的室 **入場無料**

明治43年の漁船遭難関係資料、江戸から昭和初期までの舟運・商業・漁業など経済関係資料、昔の絵葉書、貴賓閣・反射炉関係資料などを展示します。

**野菜と海産物の朝市** ■8月7日(日)  
午前9時~11時頃まで  
毎月第一日曜日に開催 ■那珂湊駅1番線ホーム  
※ホームへの入場は無料です。

### 「乗車証明書」でおトク!

- ★乗車証明書は、湊線に乗車したお客様に駅員または応援団が発行する乗車特典のサービスです。証明書を参加店舗に提示することにより各店独自の優待が受けられます(スタンプ当日限り有効)。現在沿線100店(施設)近くが参加し、お買物や宿泊などで優待があります。
- ★サービスは乗車当日なら、何店でも利用できます。
- ★参加店は那珂湊駅待合室に置かれたチラシ、証明書に印刷されたQRコード、海浜鉄道HPまたは応援団facebookページでご確認ください。
- ★乗車証明書裏面に印刷されたQRコードで湊線時刻表と応援団facebookページも確認できます。

